

令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務に係る公募型プロポーザル質問事項に対する回答

No	質問項目	質問内容	回答
1	参加資格に係る入札参加資格について	募集要項の「参加資格」に「契約日までに豊中市への入札参加資格登録を行うこと」との記載がございますため、本件につきましては、仮に事業を受託した場合、契約日までに登録を完了できるよう進める方針で考えております。 一方で、貴市ホームページを拝見したところ、今年度の入札参加資格申請の受付はすでに終了しているように見受けられました。つきましては、契約日までに新たな申請機会が設けられるご予定があるかにつきまして、ご教示いただけますと幸いに存じます。	第一優先交渉権者となった事業者はプロポーザル実施後に入札参加資格審査へのお申し込みが可能ですので、別途ご案内いたします。 入札参加資格の要件については市HPをご確認いただきますようお願いいたします。 https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jigyosya/keiyaku/mo-usihikomi/20221017buppinsikaku.html
2	応募書類(参加表明書)の提出方について	募集要項において、「正本1部および応募書類の電子データを格納した電子媒体(CD-RまたはDVD-R)を提出」との記載がございますが、こちらは企画提案書類に限らず、参加表明書につきましても同様に、正本1部および電子媒体の提出が必要との理解でよろしいでしょうか。	参加表明書に関しては事前提出になるため、正本1部のみの提出で結構です。
3	仕様書5業務内容(1)②(ウ)	ニュースレターはどんなイメージなのか、冊子なのかペライチなのか封筒に入れるのかなどの以外にあれば教えてください。	市HPへの掲載や各種イベントでの配布、豊中商工会議所様の会報とともに配布することを想定しているため、A4チラシ1枚の両面印刷をイメージしております。また封筒等は必要ありません。
4	仕様書5業務内容(1)②(ウ)	ニュースレターの2800部は、既に何かしらの母数で確定しているのか？もし一定数の確保ができていのであれば、この2800部宛に集客をすることは可能なのでしょうか？	豊中商工会議所様の会報に同封する際に必要な部数と、その他イベントでの配布用の数量となります。 同様にセミナー等のチラシを会報に同封することに関しては、受託者負担で別途調整が必要です。
5	仕様書5業務内容(1)②(ア)	公開講座の参加者数要件(40者以上)について、同一事業者が第1回・第2回の両方に参加した場合、各回で重複カウントされますでしょうか？	お見込のとおりです。
6	事業の効果検証について	募集要項P5の「(ウ)事業の効果検証」に記載されている「事業終了後の市内二酸化炭素量の削減に寄与したことを検証する方法について提案」について、この提案は事業を行った年度内(単年度)での検証方法の提案を求められているのか、それとも複数年度(翌年度以降)にかけての検証方法の提案でも良いのか。	年度内(単年度)、複数年度(翌年度以降)のいずれでも結構です。
7	参加表明書の提出について	参加表明書を提出する際は、参加表明書の正本1部と、参加表明書のデータのみを格納した電子媒体を提出するという理解で良いか。その場合、その他の応募書類を提出する際は、格納する電子媒体に参加表明書のデータが不要ということで良いか。	No.2と同様です。

令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務に係る公募型プロポーザル質問事項に対する回答

No	質問項目	質問内容	回答
8	企画提案書について	「パワーポイントで20ページ以内」とあるが、これはパワーポイントのスライド20枚以内と同じという理解で良いか。また、正本1部を印刷して提出する際、スライド1枚につき1ページの印刷が必要か、印刷した1ページに複数枚のスライドを印刷することも可能か。	ページ数についてはお見込のとおりです。正本に関しては、提案内容を視認できない事例などがあった場合、審査へ影響する可能性があるため、適切にご配慮ください。
9	広報用のチラシについて	広報用のチラシについて、「A4サイズかつ両面1枚以内で作成」とあるが、公開講座、個別支援、オフライン交流会などそれぞれについてのチラシを作成するという理解で良いか。あるいは、複数の内容をまとめて1種類だけ作成するなどの条件があるか。	公開講座、個別支援、オフライン交流会のそれぞれにチラシを作成することを想定しています。
10	ニュースレターについて	ニュースレターについて、用紙サイズやページ数、装丁などの指定があるか。それとも、応募者の提案事項になるのか。	No.3と同様です。
11	成果品の提出期限について	ニュースレター等の発行物について、仕様書にて「公開講座開催後14日以内」の提出とあるが、一方で、公開講座の開催が年2回以上で、ニュースレター等の発行が年4回程度とされている。とすると、2回程度の公開講座後に4回分のニュースレター等の内容を提出するので間違いはないか。これであれば、スケジュール的に個別支援の事例等をニュースレター等に掲載することができないのではないか。	ニュースレターは、公開講座に合わせて発行することを想定しています。公開講座の開催が4回を下回る場合、発行時期や掲載内容などについては、受託者と改めてご相談させていただきます。
12	評価項目の配点について	選定方法にある評価項目の配点について、「1.業務に対する理解度・企画提案力」は(15点)となっているが、詳細の配点を足すと(10点)になる。「1.業務に対する理解度・企画提案力」は(10点)が正しいという理解で良いか。	お見込のとおりです。「1.業務に対する理解度・企画提案力」は合計10点となります。申し訳ございません。
13	入札参加資格について	昨年度も同様の質問があったが、現在は入札参加資格のない事業者であっても、プロポーザル実施後に入札参加資格の登録は可能か。今年度の募集は終了しているため、対応可否を教えてください。	No.1と同様です。
14	二酸化炭素排出量算定ツールの活用について	評価項目の【個別支援】に記載のある「二酸化炭素排出量算定ツールの活用」について、昨年度の事業において活用実績があり、市が継続して利用を推奨、あるいは市民や事業者に普及させたい特定のICTツールやプラットフォームがあれば教えてください。	現時点では特にありません。
15	別の事業者との連携について	実施内容の個別支援にあたっては、個別の事業者支援により専門的な視点を持つ業者と連携し、実施する企画提案を行うことは可能か。	可能です。企画提案書に、連携事業者名と実施する内容について明記ください。

令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務に係る公募型プロポーザル質問事項に対する回答

No	質問項目	質問内容	回答
16	既存ネットワークおよび企業リストについて	評価項目の【情報共有等のネットワーク構築】に記載のある、交流会における「既存ネットワークおよび企業リスト」とは、昨年度事業のリストを指しているか。他に、該当するネットワーク等があれば、可能な範囲で教えていただきたい。	この場で指している「既存ネットワークおよび企業リスト」とは、当市が所有するものではなく、貴社が入手可能なネットワークや企業リストの活用を想定しています。
17	公開講座の内容について	公開講座の内容例として、「脱炭素は何か、何から始められるか」等脱炭素経営に取り組んだことが無い初心者向けセミナーの企画が実施内容とされていますが、基本的に前年度等にセミナーに参加したことの無い企業のみを参加の対象として考えているのでしょうか。	豊中市内に事業所があれば、参加事業者については特に制限はありません。
18	公開講座・個別支援の参加者数について	公開講座の目安参加者数(全40者、1回当たり10者)、個別支援の目安参加者数(6者以上)を下回る場合のペナルティはありますでしょうか。	現時点ではペナルティは想定しておりませんが、目安人数以上の参加が期待できるご提案をお願いします。
19	公開講座・個別支援の参加者募集について	公開講座及び個別支援に参加する企業の募集においては、豊中市役所様又は商工会議所様などの既存パイプライン活用によるご協力はいただけるのでしょうか。それともリクルートは、受注者自らが単独で行う必要があるのでしょうか。	当市においても市HPや広報等で周知するとともに、市が保有する事業者リストをもとに募集活動を実施しますが、募集要項6(1)②(イ)参加事業者の募集方法に記載のとおり、募集方法についてのご提案をお願いします。
20	ネットワーク構築に関して	「先進事業者の取り組み内容や脱炭素経営を活用した経営課題解決手法を共有」するとありますが、先進事業者は、豊中市に所在する企業に限定していますでしょうか。また、その場合、豊中市内で先進的な取り組みを行っている事業者様をご紹介いただけるのでしょうか。	当該部分の「先進事業者」は本事業の趣旨に沿った事業者であれば、豊中市以外でも結構です。市内の先進事業者のご紹介に関しては、調整させていただきます。
21	広報用チラシについて	各実施事項(公開講座・個別支援・ネットワーク構築)の共通事項として「受注者は、(ア)で作成した広報用チラシ等により、豊中市内の事業者に対し、支援事業への参加を案内する。」とありますが、どのような手段でどのような配布枚数を想定しておりますでしょうか。複数手段がある場合はそれぞれの配布枚数を教えてください。	当市に納入いただく広報用チラシについては、市HP等に掲載するため電子媒体のみとなります。本事業を市内事業者に広く周知する方法として紙媒体を活用する場合は、受託者の負担で印刷してください。

令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務に係る公募型プロポーザル質問事項に対する回答

No	質問項目	質問内容	回答
22	再委託に関する留意事項について	再委託に関する留意事項として、発注者の承諾を得た場合を除き、受注者は本業務を「再委託若しくは請け負わせてはならない」とありますが、発注者の承諾は、審査のどの段階において取得しておく必要があるのでしょうか。(第1次審査の前/後、第2次審査の前/後等)また、再委託比率の上限などがあれば教えてください。	当市への承諾に関しては、契約締結の際で結構です。ただし現時点で再委託を想定している業務内容がございましたら、企画提案書の中にその旨記載してください。業務の全部又は主たる部分若しくは概ね契約金額の二分の一以上に相当する業務を第三者に委託し、又は請け負わせることは、原則禁止となっています。業務における主たる部分とは、総合的企画、業務遂行管理等を想定しています。
23	2025年度の取り組み内容について	2025年度事業として、運営や集客についてどのような成果と課題がありましたでしょうか。今年度事業運営に向けた改善点等示唆があればご共有いただくことは可能でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ●セミナー参加者が想定よりも少なかった ●セミナーやスクール形式を望む声があるが、セミナーからスクールへ参加する事業者はいなかった ●参加事業者のほとんどは金融機関からの紹介 参加者募集に関しては上記が課題であったと認識しております。そのため、今年度事業においては「経営課題解決のひとつの手段として脱炭素経営」を普及し、市内事業者に興味を持ってもらうことをテーマとしており、募集にも脱炭素関連以外のネットワークや企業リストの活用を評価項目としてあげています。
24	2025年度の取り組みを踏まえた課題感について	2025年度事業の成果として、企業がかかえている具体的な課題感(例:算定方法が不明、サプライヤーの協力が得られない等)の傾向があれば教えてください。昨年度のヒアリング結果等をまとめた報告書は公開されていますでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ●参加事業者においては、事業者状況として取引先からの脱炭素要望を受けることは少なく、自主的な取り組みが主流 ●脱炭素はコストや手間がかかるもの、という認識 アンケート結果等から、事業者の状況として上記のように理解しています。ヒアリング結果等の報告書は公開しておりませんが、実施内容については以下にて公開しております。 【公開講座】 https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/kankyoseisaku/tikyuu_mati/jigyousha/R7datsutansosemi-ato.html 【スクール】 https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/kankyoseisaku/tikyuu_mati/jigyousha/R7datsutanso-school.html

令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務に係る公募型プロポーザル質問事項に対する回答

No	質問項目	質問内容	回答
25	2025年度の成果について	2025年度事業について、公開講座の実施内容詳細や参加していた業種・企業に関する情報を公開して頂きたいことは可能でしょうか。	公開講座に関しては市HPに実施内容を公開しておりますので、ご参照ください。 【公開講座】 https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/kankyoseisaku/tikyu_mati/jigyousha/R7datsutansosemi-ato.html 【スクール】 https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/kankyoseisaku/tikyu_mati/jigyousha/R7datsutanso-school.html
26	支援対象の事業者について	「令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務 公募型プロポーザル募集要項」の中の「1. 業務の目的」につきまして、支援の対象とする事業者の規模・業種、脱炭素経営の進捗状況など、想定されているベンチマーク等はございますでしょうか。	主な対象としては脱炭素経営に未着手であったり、着手したものの更なる取組みに悩まれている中小事業者を想定しています。
27	支援対象の事業者の募集について	「令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務 公募型プロポーザル募集要項」の中の「6. 応募書類（イ）参加事業者の募集方法」につきまして、セミナー来場者（40者以上）、個別支援事業者（6者以上）の募集業務は受託者の業務に含まれるでしょうか。また、参加企業を募集する方法として、貴市のHP等を活用することは問題ないでしょうか。	参加者の募集業務は受託者の業務に含まれます。募集に関しては当市も実施します。当市HP等の活用は問題ありません。
28	第2次審査の実施形態について	「令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務 公募型プロポーザル募集要項」の中の「7. 応募書類（1）審査方法」につきまして、第2次審査（プレゼンテーション）の時間・場所等は別途ご連絡とございますが、現時点で想定されている実施形態（対面もしくはオンライン）がございましたら、教えて頂きたいです。	時間は未定ですが、豊中市役所にて対面形式で実施し、企画提案書を用いて説明いただくことを想定しています。

令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務に係る公募型プロポーザル質問事項に対する回答

No	質問項目	質問内容	回答
29	公開講座の内容について	<p>「令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務 仕様書」の中の「5. 業務内容 ② 実施内容(ア)公開講座」につきまして、講義内容は全て同等のものでよろしいでしょうか。 または、連続性のある内容(1回目:基礎 2回目:応用)がよろしいでしょうか。 現時点で想定されている講義内容・講義形式がございましたら、教えて頂きたく存じます。</p>	<p>業務の目的として「多角的なアプローチにより事業者に脱炭素経営を広く普及啓発し、より多くの事業者が、メリットを感じつつ経営課題解決手段のひとつとして脱炭素経営に取り組むことを促進する」ことを掲げておりますので、連続講座ではなく別テーマの講座を複数回実施することを想定しています。ただし、連続講座にすることより多くの事業者の参加が見込まれる提案であれば、この限りではございません。 講義内容・講義形式は仕様書に記載のとおりです。分かりやすく、自らの事業との関連性を理解するとともに、取り組むメリットを実感し、すぐにでも実践可能な内容であることを評価いたします。</p>
30	公開講座の内容について	<p>「令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務 仕様書」の中の「5. 業務内容 ② 実施内容(イ)個別支援」につきまして、想定されている事業者との打合せ回数(初回の現地訪問を含める)や最低実施回数がございましたら、教えて頂きたく存じます。</p>	<p>個別支援に関しては、CO2排出量の削減目標設定および目標達成に向けた施策検討を支援し、参加事業者が削減計画を設定できることを目標としています。 特に回数の指定はありませんが、回数制限を設ける場合はご提案ください。</p>
31	公開講座の内容について	<p>「令和8年度豊中市中小事業者向け脱炭素経営支援業務 仕様書」の中の「5. 業務内容 ④ 共通事項(エ)支援事業の運営」につきまして、広報用チラシの印刷は受託者の業務に含まれるでしょうか。 また受託者の業務である場合、配布枚数、配布時期はどのくらいを想定すればよろしいでしょうか。</p>	<p>No.21と同様です。</p>